

増田誠大賞作品募集

応募作品 増田誠画伯（都留市名誉市民第1号）が、こよなく愛した都留市の美しい自然の風景などを自由に描いてください。作品は、油絵・水彩画・クレパスとし、具象画のみとします。ただし、未発表作品に限ります。

規格 50号（117cm×91cm）以内の平面で、小・中学生は画用紙でもかまいません。

出品手数料 無料

搬入 10月17日～19日

搬出 11月14日～16日 いずれも午前10時～午後4時

場所 都留市中央3-9-3 ふるさと会館1階事務室

応募資格 経歴・年齢・国籍を問いません。

審査員 市が委嘱した審査員によります。

賞 一般（大学生・高校生を含む）の部 中学生の部
小学生の部

※各部門ごとに大賞1点

賞金 5万円 図書券 1万円 図書券 5千円

※入選 約35点

応募票は次のところに用意してあります。

教育委員会社会教育課 ふるさと会館 中央公民館



会期 1月10日～2月28日
午前9時30分～午後4時30分
（最終日は4時まで）

会場 ふるさと会館1階展示ホール
休館日 月曜日と、祝祭日の翌日

八朔祭屋台シリーズ2

今回は、八朔祭の付祭りとして、祭りを豪華に彩った屋台の巡行について、大正期に撮影された写真

により、当時を振り返ります。

八朔祭屋台は、文化年間に製作されたと伝えられていますが、このことを物語るように、新町屋台の高欄には文化九年という製作年が記されています。

先月号の広報で紹介したとおり、屋台の巡行は付祭りとして、祭礼を華々しく盛り上げました。付祭が行われる年には、各町で屋台を出してその美しさを競い合い、人々は揃いの浴衣を着て屋台を曳き、祭りを楽しんでいただいています。

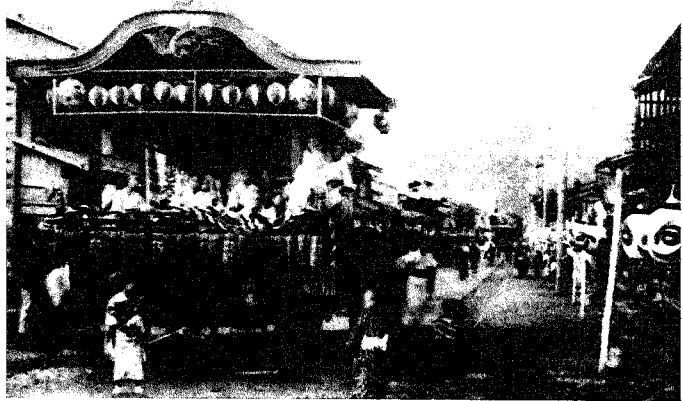


写真1 早馬町屋台（大正時代）

写真1は、大正十年頃撮影されたもので、早馬町周辺を巡行する早馬町屋台が写されています。巡行する屋台の回りには人垣ができ、また、通りに面した家々には祭提灯が飾られ、祭の風

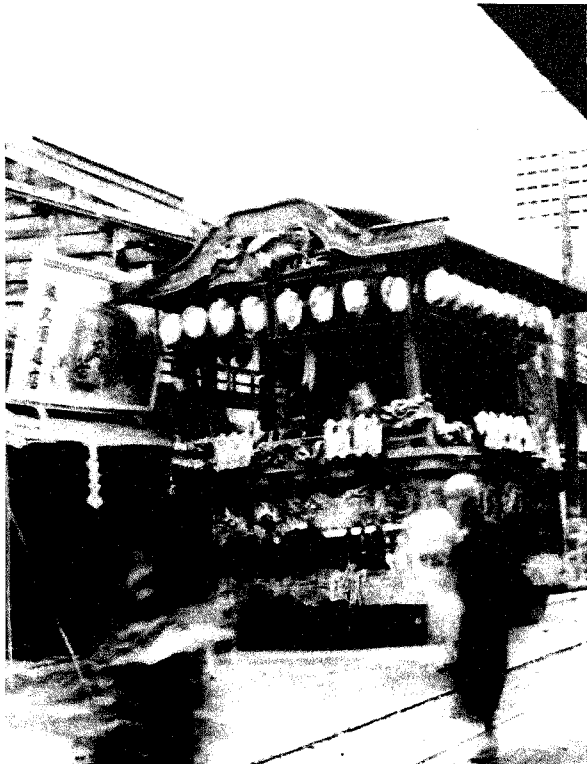


写真3 下町屋台（大正時代）

今回は、八朔祭屋台の巡行の様子を大正期の写真により紹介しました。このように写真一枚からも貴重な情報が得られます。古写真がありましたら是非ご連絡ください。

社会教育課 文化振興係

写真3は、大正十二年頃の写真で、珠久酒造店の看板が見えますから、下町周辺を巡行する下町屋台です。

写真2は、大正七年頃の写真で、現在の消防署付近を巡行中の新町屋台です。子どもたちも大勢繰り出し屋台の引き手を務め、屋台上ではお囃子と舞が行われるなど、屋台巡行の様子がよく分かります。

写真2は、大正七年頃の写真で、現在の消防署付近を巡行中の新町屋台です。子どもたちも大勢繰り出し屋台の引き手を務め、屋台上ではお囃子と舞が行われるなど、屋台巡行の様子がよく分かります。

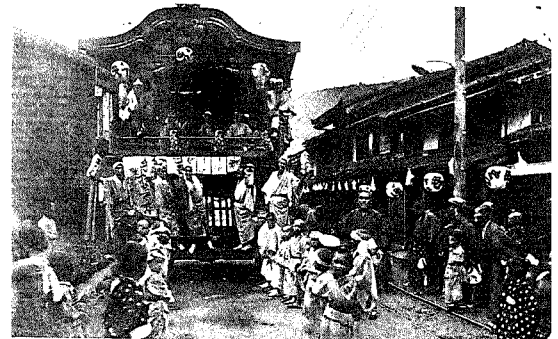


写真2 新町屋台（大正時代）